

## 令和2年7月豪雨に関する全国知事会会長コメント

令和2年7月3日からの記録的な大雨は、熊本県南部を中心に、九州全域で河川の氾濫や土砂崩れなどを発生させ、多くの方が亡くなるなど、甚大な被害をもたらしています。また、本日、特別警報の対象のエリアが広がり、より広域的な被害の発生が懸念される所です。

お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、今なお、安否が不明な方、危険な状況におかれた方が多数いらっしゃいます。

困難な状況が続く中、懸命な救出救助活動にあたっている消防や警察、自衛隊などの皆さまに深く敬意を表するとともに、一刻も早い救出と、被害の収束を強く願う所です。

現在もまだ、強い雨が降り続いており、多くの知事の皆さんが災害対策の陣頭にたっています。

全国知事会では、本日、「緊急広域災害対策本部」を設置し、関係機関からの情報収集に努め、被災地からの応援要請がある場合には、直ちに対応できる態勢を整えております。

国や全国の都道府県と連携し、全力で被災地・被災者の支援に全力で取り組んでまいります。

令和2年7月8日

緊急広域災害対策本部 本部長

(全国知事会会長)

飯泉 嘉門